



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,674	3.6	473	△32.6	472	△32.2	288	△33.0
25年3月期第3四半期	2,581	17.5	701	52.1	697	52.5	431	64.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 304百万円 (△29.9%) 25年3月期第3四半期 435百万円 (68.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	25.36	-
25年3月期第3四半期	37.83	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	2,648	1,701	64.2	149.31
25年3月期	2,642	1,584	60.0	139.05

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,701百万円 25年3月期 1,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	16.50	16.50
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 2円50銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,031	12.0	1,151	14.7	1,144	14.6	687	11.4	60.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 2社 （社名）LINICAL TAIWAN CO., LTD.、LINICAL KOREA CO., LTD.、除外 1社 （社名）－
 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における
 重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	12,370,000株	25年3月期	12,370,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	975,094株	25年3月期	975,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	11,394,906株	25年3月期3Q	11,394,922株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当連結会計年度の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、企業業績が改善するなど全体として景気は回復基調にありましたが、新興国の経済動向や消費税増税の影響が懸念されることもあり、先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界においては、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験（注）の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。近年、既存企業の規模拡大、M&Aによる業界再編が進んだ結果、業界内の競争は激しくなっているものの、直近の受注状況は改善しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業につきましては、引き続き営業活動を強力に推進し、複数の新規案件を受託した結果、売上に貢献することになりました。しかしながら、利益面では、増加傾向にある新規受託案件に対応するために先行的に人員を採用し教育を行った結果、前年同四半期を下回ることとなりました。また、CSO事業については、営業活動を強力に推進した結果、新規案件の受託に成功し、売上及び利益に貢献することとなりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,674百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は473百万円（前年同四半期比32.6%減）、経常利益は472百万円（前年同四半期比32.2%減）、四半期純利益は288百万円（前年同四半期比33.0%減）となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国又は地域において同時並行的に行うことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ6百万円（0.2%）増加し、2,648百万円となりました。これは、主に売掛金の増加及び有価証券の減少等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ110百万円（10.4%）減少し、947百万円となりました。これは、主に未払法人税等の減少及び短期借入金の増加等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ116百万円（7.4%）増加し、1,701百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より208百万円減少し、1,524百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は138百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益472百万円の計上があったものの、法人税等の支払額417百万円及び売上債権の増加額173百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は13百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出8百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は71百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増額142百万円があったものの、長期借入金の返済による支出22百万円及び配当金の支払による支出187百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第3四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月10日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。CSO事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成25年3月期末の受注残高に比べ平成26年1月31日時点の受注残高は19.4%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたものの、これを上回る受託案件の新規契約があったことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、臨床開発モニター（CRA；Clinical Research Associate）の増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成25年 3月期末 (A)	平成26年3月期		増減率(%) (B-A)/A	
		第3四半期末	平成26年1月 31日時点 (B)		
受注残高	4,750	4,861	5,672	19.4	
内訳	塩野義製薬	2,044	1,972	2,487	21.7
	中外製薬	421	970	970	130.1
	武田薬品工業 グループ	1,019	557	821	△19.5
	小野薬品工業	158	513	515	224.8
	その他	1,105	847	877	△20.6

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間より、台湾及び韓国に全額出資子会社であるLINICAL TAIWAN CO., LTD. 及びLINICAL KOREA CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,532,152	1,473,380
売掛金	500,364	673,707
有価証券	200,964	51,042
前払費用	35,587	40,063
繰延税金資産	50,359	18,170
未収還付法人税等	—	25,620
立替金	36,612	63,573
その他	622	2,197
流動資産合計	2,356,663	2,347,756
固定資産		
有形固定資産	34,910	38,241
無形固定資産	830	6,173
投資その他の資産		
差入保証金	224,770	224,348
その他	25,299	32,455
投資その他の資産合計	250,069	256,803
固定資産合計	285,810	301,218
資産合計	2,642,473	2,648,975
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	142,500
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	96,633	103,715
未払費用	48,943	58,277
未払法人税等	238,948	—
未払消費税等	45,147	20,475
預り金	53,220	76,627
賞与引当金	74,541	47,926
リース債務	4,851	5,467
その他	1,136	854
流動負債合計	593,422	485,844
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	47,500	25,000
リース債務	8,674	11,139
退職給付引当金	58,409	75,600
固定負債合計	464,583	461,739
負債合計	1,058,006	947,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	1,581,533	1,682,499
自己株式	△289,174	△289,174
株主資本合計	1,579,402	1,680,368
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,065	21,023
その他の包括利益累計額合計	5,065	21,023
純資産合計	1,584,467	1,701,391
負債純資産合計	2,642,473	2,648,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,581,359	2,674,156
売上原価	1,415,875	1,664,241
売上総利益	1,165,483	1,009,914
販売費及び一般管理費	463,625	536,568
営業利益	701,857	473,346
営業外収益		
受取利息	341	699
為替差益	—	2,187
営業外収益合計	341	2,886
営業外費用		
支払利息	4,298	3,440
為替差損	82	—
その他	0	0
営業外費用合計	4,380	3,440
経常利益	697,818	472,792
税金等調整前四半期純利益	697,818	472,792
法人税、住民税及び事業税	249,505	158,224
法人税等調整額	17,237	25,586
法人税等合計	266,743	183,811
少数株主損益調整前四半期純利益	431,074	288,981
四半期純利益	431,074	288,981

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	431,074	288,981
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,182	15,958
その他の包括利益合計	4,182	15,958
四半期包括利益	435,256	304,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435,256	304,940

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	697,818	472,792
減価償却費	15,334	9,280
長期前払費用償却額	2,094	2,348
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,280	△26,614
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,101	17,191
受取利息及び受取配当金	△341	△699
支払利息	4,298	3,440
為替差損益(△は益)	82	643
売上債権の増減額(△は増加)	280,254	△173,342
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,078	△24,641
立替金の増減額(△は増加)	12,582	△26,960
前払費用の増減額(△は増加)	△5,305	△4,128
未払金の増減額(△は減少)	△1,300	6,995
預り金の増減額(△は減少)	14,578	23,407
その他	4,156	2,862
小計	997,995	282,574
利息及び配当金の受取額	269	729
利息の支払額	△5,152	△4,405
法人税等の支払額	△416,770	△417,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	576,342	△138,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,357	△8,340
無形固定資産の取得による支出	—	△2,500
長期前払費用の取得による支出	△437	△1,555
差入保証金の差入による支出	△412	△1,498
差入保証金の回収による収入	853	648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,353	△13,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	142,500
長期借入金の返済による支出	△22,500	△22,500
自己株式の取得による支出	△15	—
配当金の支払額	△125,083	△187,826
リース債務の返済による支出	△6,571	△3,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,169	△71,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,085	15,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	542,904	△208,692
現金及び現金同等物の期首残高	981,956	1,733,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,524,860	1,524,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。